

「緑豊かで、潤いと安らぎのあるまち」の実現を

十日町市民環境会議

第13号

令和4年1月

十日町市民環境会議事務局

十日町市民環境エネルギー部環境衛生課内 TEL025-752-3924 FAX025-757-1751

会員数

個人 (21)・団体 (4)

事業所 (27) 令和3年12月末現在

その後、新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少など感染状況が落ち着きを見せていることから、「私たちの暮らしと生物多様性——いま里山の生き



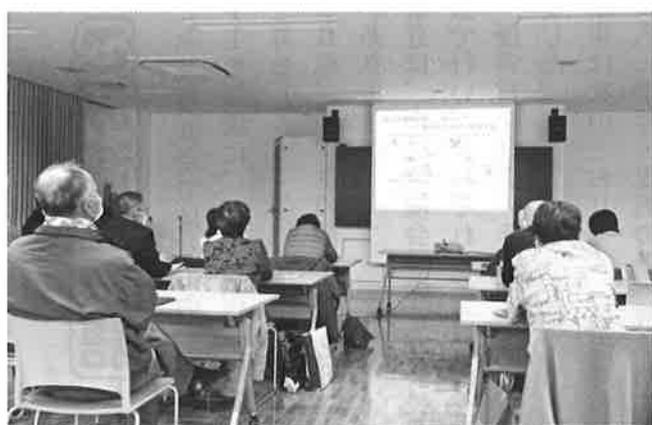
自然環境保全部課長あいざつ

その後、新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少など感染状況が落ち着きを見せていることから、「私たちの暮らしと生物多様性——いま里山の生き

十日町市民環境会議自然環境保全部会では、毎年、自然観察トレッキングなど自然環境に触れながら自然の良さを理解してもらう体験事業を開催しています。令和3年度は、9月に十日町市内の棚田をまわりながら棚田の持つ機能等を学ぶ事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の新規感染者の増加が著しかったため、中止とさせていただきます。

自然環境に関する勉強会を開催

十日町市民環境会議は、市民・事業者・行政が協働して、市の環境基本計画に基づく環境保全活動を推進することにより、市が目指す環境像「緑豊かで、潤いと安らぎのあるまち」の実現に寄与することを目的に活動しています。



勉強会の様子

物に起きる変化」と題して12月16日に勉強会を開催しました。講師を、十日町市立里山科学館・越後松之山「森の学校」キヨロロの小林学芸員より務めていただきました。小林先生からは、身近な里山の生物多様性と生態系サービスにみられる変化について、非常に分かりやすく説明いただきました。参加者からは、大変分かりやすく良かった、ぜひまた開催してほしいなどの感想が聞かれました。

十日町市民環境会議では、自然環境保全、再生可能エネルギー活用、地球温暖化対策、ごみ減量の4つの部会で活動しています。興味がある方のご連絡をお待ちしております。

また、蔓延しているコロナウイルスも国内では少し鎮静化しつつありますが、まだまだ油断できません。当環境会議の各部会においても県外や市外への視察や体験を通じた事業計画もなかなか実行できなかったのが現状でした。

さて、十日町市では地中熱利用や太陽光発電、木質バイオマスストーブ導入などへの補助金制度もあります。ぜひ活用いただき少しでも環境への取組みにご協力いただくことがこの先重要なことと考えております。環境問題に関心をお持ちいただき、当会議に参加いただければ幸いです。

最後に、皆さまが健康で私たちの住むこの地域が災害の無い明るい良い年でありますようお願いしまして、挨拶いたします。



十日町市民環境会議
会長 水落良孝

明けましておめでとございます。

昨年度は、記録的な大雪となりましたが、今年はいかがでしょうか。難儀をしない程度の雪であつてほしいものです。

世界中でSDGsへの活動や日々取り組みまなければならない問題など考えさせられる年となりました。また、地球温暖化によるラニーニャ現象なる異常気象と思われる変化も報道されています。私たちも、地球温暖化防止に関する知識や行動など市民総出でゼロカーボンを目指すための取組みを考えていかなければなりません。

新潟県地球温暖化防止活動推進員による講演会を開催



〇法人の事務長として地球資源の効率的な利用を図るため、生ごみをたい肥として再資源化し土にかえす取り組みなど地域型循環社会の形成に尽力され、環境大臣表彰や新潟県環境賞を受賞されています。

当日は、地球温暖化対策部会員をはじめ、19名の会員が参加しました。佐藤氏からは、給食残渣を堆肥化する取り組みについてご講演いただき、参加者は熱心に耳を傾けておりました。

地球温暖化対策部会では7月27日に新潟県地球温暖化防止活動推進員の佐藤恭子氏をお招きし、地球温暖化対策に関する講演会を開催しました。講師の佐藤氏は、2011年から推進員の活動をされる傍ら、NP

地球温暖化対策部会では、温暖化に関する学習活動に取り組んでいます。当部会では、地球環境や温暖化に興味がある部会員を募集しています。入会いただける方は、十日町市民環境会議事務局である市役所環境衛生課（☎752-3924）にお問合せください。

ごみ減量標語

ごみ減量部会では、市内学校に通う小学生を対象に、「ごみ減量」に関する標語を募集したところ、中学生の部で7校336点、小学生の部で9校282点の応募がありました。

審査は、市民環境会議の正副会長及び当部会で行い、それぞれの部で最優秀賞を1点、優秀賞を3点、その他に優良賞を選出しました。

結果は次のとおりです（最優秀賞以外は学校名・学年・氏名のみ、敬称略）。

ごみ減量標語 優秀作品

	小学生の部				中学生の部			
	学校名	学年	氏名		学校名	学年	氏名	
優 秀 賞	十日町	4	塩川 滯		吉田	2	春日 浩輝	
	十日町	4	竹内 芽衣		川西	2	澤口 茜	
	川治	4	遠田 悠真		松代	2	高橋 萌笑	
優 良 賞	松代	4	樋口 冬羽		中条	2	川邊 陽生	
	川治	5	福崎 光琉		中条	3	曾根 香凜	
	千手	4	西野 珀		水沢	3	渡辺 真生	
	東	4	高橋 ちはる		下条	1	近藤 陽向	
	下条	4	清水 結奈		松代	3	牧田 鈴葉	
	西	4	宮川 城衣		十日町	1	加藤 海夏	

◇最優秀賞〔中学生の部〕

ちよつと待つて 捨てる前に まだ使えない？

松代中学校3年 室岡 汐織

◇最優秀賞〔小学生の部〕

すてる前 ちよつとひと手間 リサイクル

吉田小学校3年 富井 絢音

